

F様邸新築工事 アルバム Vol.1



社長から
見た!



昨年の秋からF様と何度も進めてきたプランニングや詳細な仕上げ、工事金額がようやく決まり、3月吉日めでたく契約の運びとなりました。

4月には解体工事や本体工事の準備を進めていき、GW明けから本格的に工事が開始しました。本工事の工事管理は弊社のホープ陶山(すやま)が担当していきます。彼もかなり住宅建築に関して熟知してきたので、工事管理の大半は任せるつもりです。今回のシリーズでは、私(社長)目線で社員や職人さん達の工事の様子や頑張り具合をご報告していきます。そして本号では、地鎮祭や工事着工の様子をご紹介します。



地鎮祭の様子

5月◎日

地鎮祭の日を迎えました。お日柄もよく晴々しい気持ちと若干の緊張感のなか、ご家族お揃いで参拝して頂きました。弊社からは私と陶山が参列し、神主さんのもと、玉串奉奠、鍬入れの儀と滞りなく執り行われていきました。

地鎮祭後は事前に進めてあった丁張(ちょうはり)と言う建物の位置と高さを決めた作業のもと、お施主様と陶山が現場にて、慎重に最終確認。これから始まる新築工事の基本となる打ち合わせなので「陶山君よろしく頼むよ。」



地盤調査の様子

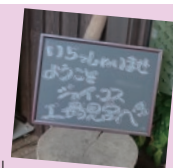
5月☆日

数日前から段取り良く準備が出来たのと、連日の好天にも恵まれ作業は着々と進んでいます。この日は丁張のもとに建物を建てる際に地盤にしっかりした強度があるかを調べる地盤調査を行いました。その結果しっかりした強度があることを確認し、いよいよ基礎工事の開始です。陶山は土建屋さん、水道屋さん達との工程を確認しながら、お施主様に代わり現場で目を光らせます。そしてこれからは建前工事に向けて、資材の搬入、職人さん達との調整が始まります。

岩手県 花巻市

ジョイ・コスの 工場見学に行ってきました

3月下旬、私たちは『チャコの家』の断熱パネルを製造販売している「JOY・KOS」(ジョイ・コス)へ行ってきました。福井には春が来ていたのに、岩手ではまだ雪が降り真冬のような寒さでしたが、スタッフの皆さんに温かく迎えられ、まず建前中や建築中のほか完成したお家が立ち並ぶ「JOY・KOSタウン」に行きました。去年から住まわれているお客様に「この辺は、雪はあまり積もらないけれど寒さが厳しい。でもこの冬、この家では半袖で過ごせました」ととても満足されている感想を聞き私たちも大満足!そして工場ではパネルの製造過程を見学し事務所では近況のほか8年前の東日本大震災当時のお話も聞きました。津波が来た時『チャコの家』は基礎から離れても壊れることなくそのまま流されたとか、周りが崩壊しても目立った傷みもなく建っていたとか、写真も見せて頂き『チャコの家』がいかに震災に強い家なのかという事を改めて実感しました。私たちは、これからますます勉強して、快適で強いお家を建てていきたいなど、心に誓って帰ってきました。



JOY・KOSタウンにて



事務所内にて



作業風景



パネル



炭化コルク材



あったか~い
出来立てほやほやの
ウレタンサンプル



社屋前にて皆さんと記念撮影